

JUDI 都市環境デザイン会議 モニターメッセ 2012

東日本大震災から学ぶ都市環境デザインのあり方 in 東京



JAPAN URBAN DESIGN INSTITUTE

2012年9月29日(土)

日本大学 お茶の水キャンパス 理工学部1号館

編集後記

本年度の「モニターメッセ2012」は前年の東日本大震災を踏まえ、災害に対して都市デザインに何ができるのかという視点でプログラムが組まれた。

東北大学 災害科学国際研究所 准教授 平野勝也先生による「東日本大震災からの復興におけるまちづくりと防潮堤整備の相克」をテーマとする基調講演では、効率を追求するだけではない、風土に根ざした防災のためのコンパクトシティのあり方や、都市計画や都市開発などの量的目標の時代から「ひらがなのまちづくり」に見られる誇り、愛着の感じられるような質的目標の時代への変換など、我々が目標とすべき多くの示唆に富んだ知見を発表していただいた。

本書に納められた基調講演の全記録は、読み物としての面白さを持ちながら、第一級の貴重な資料としての意義を持つことができた。講演をしていただいた平野氏には、心から感謝の意を表したい。

引き続き行なわれたシンポジウムは、東北大学平野勝也准教授、芝浦工業大学中野恒明教授、関西学院大学角野幸博教授の3名をパネリストに迎え、法政大学高見公雄教授をコーディネーターに「復興まちづくりの展望と都市環境デザインに求められるもの」をテーマとして活発な議論が行なわれ、復興まちづくりに対して多様な視点の知見を提供していただいた。その全ての発言を記録した本書の価値は、非常に高いと自負している。3名のパネラーと高見氏に感謝を申し上げたい。

そして2012年のモニターメッセは、「東日本大震災から学ぶ都市環境デザインのあり方」をテーマとし、プレゼンテーションについては第一部の景観まちづくり部門、第二部の防災・災害対応部門の二部構成とした。特に第二部は災害時の建物の倒壊に伴うアスベスト飛散を防止する商品など、テーマに沿いながらも独特の視点からの発表を行っていただいた。また、ポスターセッションはきびしい社会経済情勢のなかであるにも関わらず、8社の参加をいただいて、盛況なイベントとすることができた。関係各社のご理解とご協力に、改めて深謝する次第である。

今回の「モニターメッセ2012」では、東日本大震災を契機とした新たなまちづくりを考えるきっかけが提供できたと信じている。モニターメッセが都市環境デザイン会議メンバーと、産官学の各分野の方々がひとつになって議論できる場として機能するとともに、時代の要請に応える新たな潮流として社会に対する発言力が強化できるよう、今後も努力していく所存である。

最後に、今回のモニターメッセに参加していただいた企業及び都市環境デザイン会議会員の皆様、そしてモニターメッセを企画・運営し、本書の編集を担った事業委員各位、事務局の中村さんに感謝を申し上げます。

都市環境デザイン会議・事業委員会

横川 昇二 / 東京工科大学（事業委員長）

伊藤 登 / プランニングネットワーク

須田 武憲 / GK設計

茂手木 功 / 日本都市総合研究所

三輪 強 / 昭和鉄工

小早谷 信之 / 標プランニング

谷口 雅彦 / 都市環境研究所

工藤 勉 / ヨシモトポール

栗原 裕 / ユー・プラネット

※本冊子とりまとめにあたり、資料作成にご協力頂いた各企業の皆様、また当日の議論のとりまとめを頂いた各コメントーターの皆様に感謝申し上げます。

JUDI 都市環境デザイン会議・モニターメッセ2012
東日本大震災から学ぶ都市環境デザインのあり方 in 東京

2013年2月発行

編集・発行 都市環境デザイン会議・事業委員会
レイアウト・制作 (株)アーバンプランニングネットワーク
印刷・製本 (株)プリントパック

<http://www.judi.gr.jp>
